

高校生が校内で養蜂

取りたての蜂蜜 味わう

（嵐山町）



巣箱から蜜枠を取り出す



瓶詰めした蜂蜜

大妻嵐山中学校・高等部で、有志による養蜂の課外活動「みつばちプロジェクト」が、7日、校内で蜂蜜採取が行われ、黄金色の蜂蜜が採取された。

同校では、高等部の生徒それぞれに興味関心を探究する自然体験として、春と秋、2回の蜂蜜の採取を計画して取り組みを進めた。今年からは、1、2年生22人が参加した。5月には、巣箱から蜂蜜がたまっていた。6月には4枚を回収した。7日にも、後藤柚奈さん（1年）は1枚が回収された後、生徒による初めての蜂蜜絞りが行われた。生徒たち

近藤もかさん（同）は「養蜂は普段では出来ないことなので、良い経験になりました」と笑顔を見せた。プロジェクト担当の高橋智教諭は「生徒たちの興味関心は様々ではあ

は回収した蜜枠の表面を覆う蜜蝋をナイフでこそぎ取った後、遠心分離機にかけて、レバーを回して手で分離させていった。12枚全てが終わり、遠心分離機底部の栓を開けると、色鮮やかな蜂蜜が流れ出し、見守る生徒たちからは大きな歓声が上がった。

今年から参加しているが、プロジェクトがそれぞれの探究心を満たせる場となってくれればうれしい」と話す。同校文化祭では、蜂蜜や加工品の発売を予定している。